

使用指導のポイント

「ナシビンメディ」を使用する方には、次のことを必ず守ったうえで
使用するようにご指導ください

●重要な注意

- (1) 本剤を使用している間は、他の鼻炎用点鼻薬を使用しないでください。
- (2) 1日1～2回噴霧してください。適用間隔は10～12時間以上おいてください。
- (3) 連続して1週間を超えて使用しないでください。
(本剤の連用により鼻粘膜障害が発現するおそれがあります。)
- (4) 使用を中止し、再び使用する場合は本剤を使用しない期間を2週間以上設けてください。
[2週間以上の休薬期間を設けないで再び使用した場合は、かえって鼻づまりを起こすおそれがあります]

〈使用にあたっての注意〉

- (1) 容器を横にして使用しますと、薬液が霧状になりませんので、必ず垂直にしてお使いください。
- (2) ご使用前には鼻をかみ、鼻腔の通りをよくしておいてください。
- (3) ご使用後はノズルをティッシュペーパーなどで拭いて、清潔に保ってください。
- (4) 容器の先が鼻汁等に触れると、薬液が汚染又は混濁することがありますので注意してください。

〈保管および取扱い上の注意〉

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にカバーをして保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。

成分・分量

100mL中

成分	分量
オキシメタゾリン塩酸塩	0.05g
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.5g

添加物として、ベンザルコニウム塩化物、
塩化Na、エデト酸Na、リン酸二水素K、
pH調節剤を含有します。

効能・効果

鼻づまりのある急性鼻炎又はアレルギー性鼻炎による次の諸症状の緩和：
鼻づまり、鼻みず(鼻汁過多)、くしゃみ

用法・用量

成人(15歳以上)、各鼻腔に1回2～3度ずつ、1日1～2回噴霧してください。なお、
適用間隔は、10～12時間以上おいてください。連続して1週間を超えて使用しないで
ください。使用を中止した場合は2週間以上あけてください。症状が改善したら使用を
中止してください。

第1類医薬品

鼻炎用持続性点鼻薬

オキシメタゾリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩配合

ナシビン®メディ

適正使用のチェックシート

次のことを確認し、情報提供させていただきます。

1 次の質問で一つでも「はい」に該当する方は、本剤を使用することができません。

Q1	鼻づまりの症状がない。	☐ はい	☐ いいえ
Q2	本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある。	☐ はい	☐ いいえ
Q3	モノアミン酸化酵素阻害剤等を服用している。 ※モノアミン酸化酵素阻害作用等を有する医薬品は以下のようなものがあり、いずれもパーキンソン病の治療に用いられます。また、ゾニサミドはてんかんの治療にも用いられます。 ●セレギリン塩酸塩 ●ゾニサミド ●エンタカボン	☐ はい	☐ いいえ
Q4	15歳未満である。	☐ はい	☐ いいえ
Q5	本剤と一緒に、他の鼻炎用点鼻薬を使用したい。	☐ はい	☐ いいえ
Q6	本剤を、既に連続して1週間を超えて使用している。	☐ はい	☐ いいえ

上記の質問にいずれも「いいえ」と答えた方

2 次の質問で一つでも「はい」に該当する方は、本剤を使用できない場合があります。

Q1	医師の治療を受けている。	☐ はい	☐ いいえ
Q2	現在、妊娠している又は妊娠している可能性がある。	☐ はい	☐ いいえ
Q3	薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある。	☐ はい	☐ いいえ
Q4	次の診断を受けた。 高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障	☐ はい	☐ いいえ

上記の質問を確認された方

薬剤師から説明を受け、
情報提供資料をよく読んでいただいた上で

ナシビン®メディ

を使用できます。



(ご販売前に裏面の注意点もよくご指導ください)

使用上の注意と解説事項

「ナシビンメディ」を使用いただく際の使用上の注意と解説事項です。
お客様には説明文書をよく読み、それを厳守したうえで本剤を使用いただくようご指導ください。

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

使用上の注意	解説事項
1. 次の人は使用しないでください	
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。	本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、同じ症状を発現するおそれがあります。
(2) モノアミン酸化酵素阻害剤等を服用している人。 ※モノアミン酸化酵素阻害作用等を有する医薬品は以下のようなものがあり、いずれもパーキンソン病の治療に用いられます。また、ゾニサミドはてんかんの治療にも用いられます。 ●セレギリン塩酸塩 ●ゾニサミド ●エンタカボン	モノアミン酸化酵素阻害剤を服用している人は、本剤の成分により急激な血圧上昇を起こすおそれがあります。
(3) 15歳未満の小児。	小児への過量投与により発汗・徐脈などの全身症状があらわれやすくなります。
2. 本剤を使用している間は、他の鼻炎用点鼻薬を使用しないでください	本剤と他の鼻炎用点鼻薬の併用により症状が悪化するおそれがあります。
3. 連続して1週間を超えて使用しないでください (本剤の連用により鼻粘膜障害が発現するおそれがあります)	連続して1週間を超えて使用した場合は、鼻粘膜の反応性が低下して効果があらわれにくくなったり、鼻粘膜に慢性的なうっ血症状(反応性充血)を引き起こすおそれがあります。

相談すること

使用上の注意	解説事項
1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください	
(1) 医師の治療を受けている人。	本剤の使用により治療中の疾患に影響を及ぼしたり、医師から処方されている薬との重複使用や相互作用を引き起こすおそれがあります。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。	妊婦に対する安全性は確立していません。
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。	過去に薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、アレルギーを起こした薬や類似する薬の使用により同じ症状を発現するおそれがあります。

相談すること

使用上の注意	解説事項												
(4) 次の診断を受けた人。 高血圧 ¹⁾ 、心臓病 ²⁾ 、糖尿病 ³⁾ 、 甲状腺機能障害 ⁴⁾ 、緑内障 ⁵⁾	本剤の使用により症状が悪化するおそれがあります。 1) 本剤の使用により末梢血管を収縮して血圧を上昇させるおそれがあります。 2) 本剤の使用により血管を収縮して冠動脈疾患を悪化させるおそれがあります。 3) 本剤の使用により肝臓のグリコーゲンを分解して血糖を上昇させるおそれがあります。 4) 甲状腺機能亢進症の人は交感神経が興奮状態にあり、オキシメタゾリン塩酸塩の交感神経興奮作用を増強するおそれがあります。 5) 本剤の使用により眼圧が上昇して緑内障を悪化させるおそれがあります。												
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください	オキシメタゾリン塩酸塩を含有する医療用医薬品において、同様の副作用が報告されています。												
	<table><tr><th>関係部位</th><th>症 状</th></tr><tr><td>皮膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr><tr><td>鼻</td><td>はれ、刺激感、乾燥感、鼻水、くしゃみ</td></tr><tr><td>精神神経系</td><td>神経過敏、頭痛、めまい、不眠症</td></tr><tr><td>循環器</td><td>動悸</td></tr><tr><td>消化器</td><td>吐き気・嘔吐</td></tr></table>	関係部位	症 状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ	鼻	はれ、刺激感、乾燥感、鼻水、くしゃみ	精神神経系	神経過敏、頭痛、めまい、不眠症	循環器	動悸	消化器	吐き気・嘔吐
関係部位	症 状												
皮膚	発疹・発赤、かゆみ												
鼻	はれ、刺激感、乾燥感、鼻水、くしゃみ												
精神神経系	神経過敏、頭痛、めまい、不眠症												
循環器	動悸												
消化器	吐き気・嘔吐												
3. 3日間位使用しても症状がよくなりえない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください	3日間位使用しても症状の改善がみられない場合は、他に原因があることも考えられます。												

用法・用量に関連する注意

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 本剤は作用時間が長く、1日1～2回の使用で効果を示します。
過度に使用しますと、かえって鼻づまりを起こすことがあります。
- (3) 点鼻用にのみ使用してください。